

心聖会 広報誌 広報こいけ

発行：社会福祉法人 心聖会
広報委員会
発行責任者：吉村 優児
URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)

〒276-0001

千葉県八千代市小池393

TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。

秋の催し物



小池更生園



小池更生園



作山更生園



こいけ障害者支援センター

私たちは取り巻く環境が目まぐるしく変化していく中、今私たちができることを積み重ね、本来ある日常を着実にかつ慎重に取り戻していければと思います。

新型コロナウイルスは感染症法上の位置づけが、今年5月に季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行しました。感染対策は個人、及び各事業所の判断に委ねられ、3年余り続いた国のコロナ対策は大きな節目を迎えました。その一方で、現在の国内感染状況は減少傾向にあるものの、1週間に医療機関から報告された新型コロナウイルスの患者数は1万人を超えているのが現状です。未だ感染症の終息が見えない中、心聖会の一大イベントである「心聖会秋祭り」は、そうした状況を踏まえ、法人全体での大規模な開催は見送り、今年も各事業所それぞれで、ご利用者の皆さまが笑顔で楽しめるよう工夫を凝らしたイベントを開催することとなりました。

はじめに、ご利用者、ご家族、日頃お世話になっている皆様には、感染症拡大防止への取り組みにご協力いただき、感謝申し上げます。

今年度の秋祭りは・

新任職員研修会で得た変化とは？

小池更生園 近藤 希

7月17、18日に行われた「令和5年度 新任職員研修会」に参加させて頂きました。「福祉とはなにか」という基本的なことから、福祉現場での対応や関わり方について学び、ご利用者にとっての「支援員とはなにか」を改めて考える機会となりました。小池更生園で支援員として働いた2年半を振り返ると、ご利用者が見せる相手を気遣う姿から周りを見ることの大切さを学び、互いの関わりの中で喜びを感じたりと、ご利用者からもらうものが多くあったと感じます。支援員として、まだまだ未熟な面が多くありますが、ご利用者の声に耳を傾け、相手が伝えたいことはなにか、何を支えれば生活の質が良くなるのかを考え、ご利用者の人生に寄り添っていきたく感じます。

作山更生園 吉田 若菜
研修の中で得た最も印象深い学びは、自分自身に置き換えて考えることの大切さです。ご利用者の支援にあたる際には、常に気づきへの意識を持ち、効率よりも丁寧さを重視することが、よりよい支援への第一歩なのだと実感いたしました。私自身を振り返ってみると、仕事に慣れてきたこともあり、ついつい効率を優先しがちになっていないかと、反省もしています。研修で学んだことを常に念頭に置いて、ご利用者にとって一番よい支援を目指したいと考えています。日々の支援のなかで目標を掲げてもうまくいかず、対等な支援を目指していても、現実とのギャップに苦しむことがあります。そのようなときには、ご利用者に寄り添う支援を目指すことや、ご利用者の持つ特性を障害や問題ではなく「強み」だと捉えられるよう視点を変えてみるのが大切なのだと実感いたしました。座学だけでなく、他施設の方と意見交換ができ、支援に対する熱意や勇気を得ることができするなど、有意義な2日間となりました。

優勝を目指してフルスイング

小池更生園 佐藤 大哉

令和5年7月20日と9月27日に開催された施設職員交流野球大会に参加してきました。

予選大会初戦の相手は安房広域福祉会。序盤から心聖会の打線がつながり、一時は7点差をつけるなど優位に試合を進めていきましたが、終盤には一気に5点を返されるなど相手チームの猛攻を受ける場面もあり、終わってみれば11対5で何とか勝利することができました。続く2試合目の相手は、優勝候補筆頭の佐啓会です。この試合は相手投手の前に打線が全く機能せず0対7で完敗となりました。9月27日に迎えたトーナメント。1試合目の対戦相手はまたしても佐啓会です。前回の雪辱をと選手一丸となって臨みましたが、結果は2対3で惜しくも敗戦。あと一押しが足りませんでした。続く2試合目は大久保学園と対戦。1試合目で力を使い果たしたのか大敗を喫し、今年度の野球大会全日程を終了しました。今後も優勝を目指して練習に励んでいきます。

準優勝に輝く

小池更生園 藤田 ゆりか

令和5年9月3日「職員交流バレーボール大会東葛地区予選大会」に参加してきました。心聖会バレーボール部は、感染症の影響を踏まえ活動を休止していましたが、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、バレーボール部の活動を再開しています。今大会では感染症等の影響により、心聖会を合わせて4事業所だけの参加になりましたが、熱い戦いに盛り上がり魅せていました。結果は2勝1敗で準優勝でしたが、令和5年11月20日に行われる県大会に出場決定です。

私は、2年前の新型コロナウイルスが流行している時期に小池更生園に入職した為、今回初めての大会参加となりましたが、他事業所の職員と交流できたことが良い経験になりました。日頃の業務やバレーボールはチームプレイです。心聖会のご利用者、職員と互いに声を掛け合い励ましあいながら仕事と部活動に励んでいけたらと思います。

小池更生園便り

夏の思い出

暑さを吹き飛ばそう！

夏の風物詩といえはかき氷！昨年は新型コロナウイルスの影響により企画を見送りましたが、今年は2年ぶりに小池かき氷店をオープンすることができました。

フレーバーは珈琲・イチゴ・メロン・ブルーハワイ・レモンをご用意し、ご利用者に好みの味を選んで召し上がって頂きました。中には5種類全部をかき氷に入れて味わっている方もいらっしゃいました。つい勢よく食べてしまい頭を抱えてしまう方も。かき氷機を休みなく稼働し続けた為、一時動かなくなるとラブルもありましたが、ご利用者の満足した表情を見られ、小池かき氷店は大盛況でした。

夜夏といえは・・・

毎年恒例になりつつある「こいけ花火大会」を8月19日に行いました。最初はお好きな手持

ち花火を、ご利用者の方で自身で選んで頂き、一人ひとりに手をもって夏の風物詩を楽しんで頂きました。楽しい時間の最後を締めくくるとは打ち上げ花火です。夜空に上がる打ち上げ花火を皆で楽しみました。また、同日に近隣で行われていた「小室夏祭り」の花火を園からでも見る事ができました。「こいけ花火大会」を楽しんだ後は「小室夏祭り」の花火を皆で楽しむことができました。



久しぶりのショッピング

令和5年10月31日、ご利用者3名職員2名で味噌加工班外出を行いました。行先は大型ショッピングセンターアリオ柏店です。外出制限の緩和に伴い4年ぶりの1日外出ということで、数日前からこの日を楽しみに待っていました。

アリオ柏店到着後は事前に館内パンフレットを見て決めておいた、ご利用者それぞれの行きたいお店を見て回りました。アニメショップや玩具売場、家電売場に駄菓子屋等、午前中だけでは時間が足りず、フードコートで昼食をとった後、午後もうご要望のあったお店を見てまわりました。1日を通して、ご利用者の笑顔で楽しんでいる様子が多く見られ、心身ともにリフレッシュできたのではないかと感じました。



夏は涼を感じる場所へ

令和5年8月24日、室内1班のご利用者7名、支援員5名で葛西臨海水族館に行ってきました。

新型コロナウイルスが5類に移行し外出制限の緩和に伴い、ようやく長時間の外出を行うことができました。水族館の中は涼しく、目の前を泳ぐ大きな魚に驚いていたり、元氣よく動くペンギンを楽しそうに見ていたり、その場に立ち止まり夢中になって見ているご利用者が多くいました。水族館を観覧した後は、フードコートにて昼食をとりました。それぞれ好きなメニューをご自身で選んでいたいただき、皆さん嬉しそうな表情をしながら召し上がっていました。毎日暑い日が続く、当日も猛暑の中での班外出となりましたが暑さ対策をしながら充実した1日を過ごすことができました。



作山更生園便り

4年ぶりの...

10月12日、作山更生園では久方ぶりとなる、ご家族をお招きしての秋祭りを開催しました。

これまで、新型コロナウイルスの猛威により、外部との交流を断念せざるを得ない状況が長らく続いたため、私たち職員も歯がゆい思いをしておりました。

しかしこの度、4年ぶりとなるご家族を交えた秋祭りを開催することができました。当日は秋晴れにも恵まれ、楽しそうに過ごすご利用者やご家族の姿を目にすることができました。

コロナ禍が続く昨年度までは、ご利用者と職員のみで秋祭りを開催していました。その間も、



園庭がメイン会場となりました！



できたてをキッチンカーで！

ご利用者の皆様が最大限楽しめるような工夫を凝らしてまいりましたが、規模が縮小されてしまったことで、物足りなさを感じずにはいられませんでした。

今回は、ご利用者だけではなく、ご家族の皆様にも精一杯お楽しみいただけるよう、様々な工夫を凝らしました。キッチンカーではできたての料理が振る舞われたほか、ソフトクリームやかき氷の屋台、宝探しコーナーなど、コロナ禍では難しかった企画も開催することができました。その結果、ご利用者そしてご家族の皆様に、大変お喜びいただくことができました。

来年度以降も、ご利用者やご家族の皆様楽しんでいただけるよう、精一杯努めてまいります。

スポーツの秋！

9月28日、千葉県総合スポーツセンターで行われた「第50回手をつなぐスポーツのつどい」に、作山更生園のご利用者7名が参加しました。今回は、コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となりました。知的障がい者とその家族、福祉関係者等が一堂に集うことで、スポーツを通して親睦を図ることができました。当日は晴天に恵まれたものの、9月下旬としては気温も高かったため、熱中症に注意しながら競技に参加することになりました。

競技は準備体操からスタートです。緑の芝生が整備されたグラウンドの上で行われたため、開放感たっぷりの準備体操となりました。普段の班活動から



秋晴れの下、競技スタートです！

ラジオ体操に熱心に取り組まれていることもあり、皆さんしっかりと身体を動かすことができました。

メイン競技では、「フライングディスク」「玉入れ」「あんぱんレース」「フォークダンス」の4種目に参加しました。フライングディスクを初めて行うご利用者の中には不安な表情を見せる方も見受けられましたが、他の参加者の方が投げる姿を観察することで、遠くまで投げることができました。

久々の終日外出ということもあり、ご利用者の間には疲れた様子も見受けられましたが、競技でゲットしたあんぱんを笑顔で召し上がる様子を見ることもでき、とても充実した一日となりました。



フライングディスクに挑戦！

こいけ障害者
支援センター便り

いらっしやいませ〜



みんな来てね〜



喜びもひとしお

こいけホーム便り

前号の広報紙でご紹介しました「田んぼアート in 山武市」というイベントで植えた稲が収穫の時期になったとの知らせを受け、9月30日に喜び勇んで稲刈りに参加してきました。様々な色の稲で描かれた見事なイラストアート（船と帆に描かれたチーバくん）に感動し、刈ってしまうのが惜しくなる気持ち湧いてくる中、イベントが開催されました。開始直後の大雨にも負けず、50名程の参加者が協力して汗水を流しながら鎌で稲穂を刈っていきます。参加したご利用者は、自分が植えた苗を収穫することができ、とても喜んでいる様子が伺えました。

こいけホームには、幾つかの恒例行事が存在します。毎月行っているもの、毎年行っているものと様々です。今回はその中から、年に一度行われている行事を二つご紹介致します。

♪ お皿 を 携 え て ♪

8月12日土曜日（千葉県の最高気温は32度。日陰の下、帽子を着用し暑さ対策を実施）日差しが照り付け眩しいばかりの青空が広がる中、いざバーベキュー大会開始です。炭起こしをしている時から待ち構えていた壺番館のご利用者は、お皿と飲み物を携え、準備万端。グリルでせつせとお肉を焼く職員をうちわであおぎ「頑張れ〜」と応援してくれていました。壺番館のご利用者様は高齢の方も多いため室内でカラオケ大会や、おやつ探しゲーム等のミニイベントを行い焼き終えた食材をワンプレート



4か月でこんなに育った!!!



トに盛りつけ召し上がって頂きました。「お腹いっぱいになったよー。美味しかった!」「良い匂いやジュージュー焼ける音も楽しかった。」と嬉しい感想を聞くことが出来ました。

♪ 夕食後のお楽しみ ♪

9月24日 日曜日、この日は「こいけホーム花火大会」。夜に行われる屋外イベントによって、見慣れたお庭が幻想的な雰囲気になります。まずは壺番館・壺番館それぞれのお庭にて、手持ち花火でにぎやかに親交を深めます。線香花火で締めくくりに静けさが戻った後は、壺番館のお庭に移動し、全員集合。迫力満点の打ち上げ花火を鑑賞です。足元が不安な方の為に、ソファ席も完備されています。「おー!上がった上がった!」「凄いねえ!キレイだねー。」と、皆さんの会話も大いに弾んでいました。毎年恒例の楽しみが今後も長く続くよう『当たり前』をより大切にしていきたいと感じるイベントとなりました。



法 人 だ よ り

寄付のお礼

・中村 敏雄 様

・サントリービバレッジ
ソリューション株式会社 様・社会福祉法人実のりの会
理事長 森下 正彦 様

新任職員のお知らせ

①名前②出身地③好きな言葉
へこいけ障害者支援センターへ①齋藤 遼平
②千葉県 船橋市
③初志貫徹

バザー販売のお知らせ

・12月3日(日)

福祉バザール 八千代市役所

・12月8・22日(金)

八千代ふれあいプラザ

みそ加工班からの
お知らせ

平素より「小池みそ」をご愛顧くださりありがとうございます。前号の広報誌でもご紹介させていただきましたが、この度、小池更生園味噌加工班で、珈琲の自家焙煎を始めることになりました。現在、行事やバザー等で販売を開始しております。

商品名は「ピッコロスターニョコーヒー」イタリア語で「小さい池」という意味で、八千代市小池の地名にちなんで名づけました。また、キャラクターデザインは小池更生園のご利用者によって誕生しました。

今後もバザー等のイベントで販売を行ってまいりますので是非ご賞味いただければと存じます。

名前 こいつち
出身地 イタリア
趣味 豆をひく

～ドリップパック珈琲～

1パック 100円
5パック入り 400円今までありがとう！
『貨車倉庫』

長年にわたり作山更生園の看板でもあった、鉄道貨車を転用した倉庫「貨車倉庫」ですが、老朽化により撤去されることとなりました。跡地は駐車場の一部として活用されることになり、今年の9月に工事が完了いたしました。

長年にわたり慣れ親しんでいた貨車倉庫が無くなってしまった当日は、わたしたち職員も少しだけ、寂しいような気持ちになりました。しかし、駐車場が広くなったことで、やむを得ず園庭に駐車していた車両を移動させることができ、そのぶん園庭を活用できるようになりました。

10月12日に開催された秋祭りでも、園庭をいっぱい使用して、出店やキッチンカーなど新しい催しをひらくことができ、多くのご利用者に喜ばれました。変化する環境やご利用者のニーズに合わせて、これからも作山更生園は進化してまいります。

編集後記

あれだけ厳しかった日差しもやわらかくなり、秋の気配が色濃くなってきました。それと同時に、新型コロナウイルスをとりまく社会的な状況にも変化が訪れた結果、秋祭りをはじめとする園内行事や市町村が主催するイベント、観光地への外出など、これまでは感染防止のために難しかったさまざまな催し物を開催できるようになりました。その一方で6月以降は、記録的な暑さが続いたこともあり、屋外での活動が難しい状況が続き、せっかくの夏空を楽しんでいただくことができない状況に、とても残念な思いを抱いておりました。これまでは地球温暖化や気候変動という問題がどこか自分とは関係のないもののように感じていました。しかし暑さのためにご利用者の活動が制限されている状況を目の当たりにして、こうした社会問題が自分たちの身近にあることをはじめて理解することができました。SDGsが叫ばれる今こそ、こうした環境問題にも目を向けていきたいと、支援員として考え直した次第です。